

学校教育目標

郷土を愛し、自ら学び、仲間とともに伸びる生徒の育成

- ・「郷土を愛し」とは、ふるさと多良の良さを知り、ふるさとに貢献することである。
- ・「自ら学び」とは、受け身にならず、主体的に学習や生活、行事や部活動に取り組むことである。
- ・「仲間とともに伸びる」とは、仲間と学び合い、助け合い、切磋琢磨することで生徒一人一人が成長し、集団も高まるということである。

目指す生徒像

①～⑤=令和4年度の五大目標（重点目標、掲示用）

知（確かな学力）	徳（豊かな人間性）	体（たくましい心と体）
<p><b>自ら学び、共に高め合う生徒</b></p> <p>④主体的に授業に参加する生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な知識・技能を身につけている生徒</li> <li>・自分の考えを書いたり、説明したりすることができる生徒</li> </ul>	<p><b>心豊かで、社会性のある生徒</b></p> <p>①思いやりのある生徒</p> <p>③気づき、考え、行動する生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除や係の仕事など自分の役割を責任をもってやりとげる生徒</li> <li>・自分の良さを理解し、それを生かそうとする生徒</li> </ul>	<p><b>心身ともに明るく健康な生徒</b></p> <p>②礼儀正しく、気持ちの良いあいさつ・返事ができる生徒</p> <p>⑤郷土を愛し、地域に貢献する生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志を持ち、実現しようとする生徒</li> <li>・健康でたくましく耐力のある生徒</li> </ul>

「目指す生徒像」の実現に向けた、全職員による学習指導、生徒指導の共通理解・共通実践

**重点指導**

- 1.魅力ある・分かる授業づくりを推進し、学力の向上を図る。
- 2.開発的生徒指導や特別活動、教育相談等の充実を図り、自己肯定感、自己有用感を育てる。
- 3.進路学習や道徳教育を中核とした教育活動全般、及び生徒指導の充実を通して、規範意識を高め、豊かな人間力を育成する。

① 教師の授業力の向上

- ・校内研の推進と充実

② 連携（小中、家庭）した学習習慣の確立

③ 特別支援教育の充実

④ 学校ICTの活用

- ・タブレットの有効活用

① 道徳教育の充実

② 開発的生徒指導の推進

- ・生徒の出番・役割の創出と承認

③ 奉仕と勤労意欲の高揚

④ 人権・同和教育の振興

⑤ 情報モラル教育の徹底実践

① 生徒指導の充実

- ・積極的に関わり本気で指導

② 自他の生命の尊重

③ 安全な学校環境の整備

④ 食育教育の充実

⑤ 部活動の活性化と適切な運営

⑥ 郷土愛、地域貢献を育む取組

教職員が心身ともに健康でやりがいをもって業務に従事できる環境整備づくり（働き方改革の推進）

目指す教師像

- ① 自らを高め、指導力を高めようとする教師
- ② 教育の使命感と確固たる教育理念を持つ教師
- ③ 深い教育的愛情を持つ教師
- ④ 効果的で効率的な働き方を求める教師

家庭・地域

PTA 活動の充実 地域との連携の推進

教職員の働き方改革

- ① 行事や業務の精選と効率化の推進
- ② 業務記録の活用による勤務時間意識の向上
- ③ 定時退勤日（水曜日）の遵守